

(学年) 第1学年, (教科) 技術家庭科 (家庭分野)

協働学習

(単元) 中学生に必要な栄養を満たす食事

(本時のねらい)

品数や栄養的なバランス, 栄養士さんの願いなどを考えながら, 1日分の献立を作成するとともに, 栄養士さんや調理員さんが中学生の成長を願って日々献立の作成や調理に携わっていることを理解し, よりよい食生活を送ろうとする意欲を培う。

(ICT活用方法)

1日分の献立を考えるために, 生徒1人1台端末を用いて栄養素を調べながら班で献立を作成させる。また, 発表時に他者にわかりやすく説明するために, ワークシートを写真に撮らせ, 電子黒板に投影する。

(本時の展開)

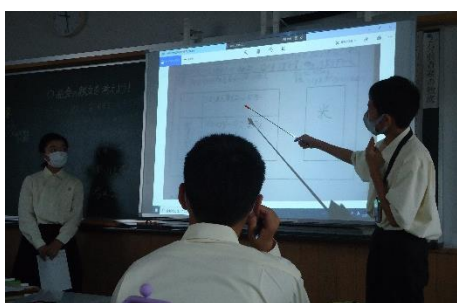
時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習課題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1日に必要な栄養素の種類や量を満たすためには, 1日3回の食事を計画的に考えることが大切であることを確認する。 	
展開 38分	<ul style="list-style-type: none"> 献立を考えたときの注意点を確認する。 1日分の献立を考える。 班で作成した献立を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1回の食事は, 主食・主菜・副菜・汁物で構成するとよいことを確認する。 給食の献立作成時に気をつけていることを話す(栄養士)。 注意点を踏まえて, 1日分の献立を考えさせる。 献立を考えた理由も記述させる。 不足しがちな食品群をとる工夫を知らせ, 献立修正のヒントとする。 班ごとに献立を発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 献立を考える上での注意点を電子黒板に示す。 1人1台端末を用いて, 指定したHPで栄養素を調べながら班で献立をつくる。 ワークシートを写真に撮り, 電子黒板に示す。

<p>まとめ 7分</p>	<p>・本時のまとめをする。</p>	<p>・中学生の成長を願って日々献立の作成や調理に携わっていることを話す。 ・本時の学習内容と感想を記述させる。</p>	
-------------------	--------------------	--	--

(授業の様子)



生徒1人1台端末を用いた調べ学習



電子黒板を用いた発表

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

生徒たちは関心を持って学習課題に取り組み、1人1台端末を用いてカロリーや塩分などを計算しながら6つの食品群を意識して1日分の献立を考えることができた。一方で、調査で用いたHPには教科書等よりも詳しく食品の栄養素が載っていたために、生徒たちは時間をかけて様々な視点から食品を選び、献立を決定するのに時間がかかっていた。また、生徒たちは1人1台端末で撮影したワークシートの写真を教員端末に送信するのに手間取っていた。

今後は、データの送受信の方法を理解させたり、課題の解決に必要な情報を選択して取り扱ったりする技能を身につけさせた上で学習に取り組ませる必要がある。